

資料提供

令和4年6月16日

課名：平和推進プロジェクト・チーム
(へいわ創造機構ひろしま(HOPe)事務局)

担当者：西澤

内線：2466

直通電話：082-513-2466

核兵器禁止条約第1回締約国会議での県等の取組について

1 要旨

オーストリアのウィーンで開催される「核兵器禁止条約第1回締約国会議」へ参加し、県やへいわ創造機構ひろしま(HOPe)の取組を発信し、核兵器廃絶に向けた働きかけを行う。

2 「核兵器禁止条約第1回締約国会議」等での取組

(1) 実施主体

広島県／へいわ創造機構ひろしま(HOPe)

(2) 期間

令和4年6月17日(金)～6月23日(木)

(3) 場所

ウィーン(オーストリア)

(4) 県の取組内容

ア 対話イベント開催

締約国会議に先立ち、国際NGOのICAN等が開催する、市民社会フォーラム(Civil Society Forum)へ参加し、「核兵器禁止条約と持続可能性」をテーマにした対話イベントを開催する。

【テーマ】核兵器禁止条約と持続可能性のつながり(TPNW and Sustainability Nexus)

【会場】Colloquy Hall, Aula der Wissenschaften
(住所) Wollzeile 27a, A-1010 Wien

【日時】6月18日(土) 12:15～13:00 [現地時間]

【モデレーター】大阪大学大学院 星野 俊也(ほしの としや) 教授
(前・国際連合日本政府代表部大使・次席常駐代表)



【パネリスト】Youth Fusion (※)

ミカエラ・ヒギンズ・セーレンセン

(Michaela Higgins Sorensen)

※核兵器を全廃する条約の締結を求める、市民運動のネットワークであるアボリション2000の若者ネットワーク



KNOW NUKES TOKYO (※)

山口雪乃 (やまぐち ゆきの) 長崎市出身

※イベント開催や国会議員との対話を通じて、核のない世界を目指す東京の学生の団体



One History Textbook Project (※), KNOW NUKES TOKYO

中村 生 (なかむら いく) イギリス在住

※米国で現地の学生と共に第二次世界大戦を日米両方の視点で考える歴史の教科書を作るプロジェクト



(注) 現地取材のためには、市民社会フォーラムへの登録が完了している必要があります。

イ バナー展示

締約国会議の会場にて、ひろしまイニシアティブやひろしまレポートを紹介するバナー展示を行う。

ウ グローバル・アライアンスへの加入呼びかけ

会議参加者及び団体に対して、4月に立ち上げた、グローバル・アライアンス「持続可能な平和と繁栄をすべての人に」への加入の呼びかけを行う。

(5) スケジュール

(日付表示は現地時間)

月 日	時間 (現地時間)	項 目	場 所
6/17 (金)	—	現地着	—
6/18 (土)	12:15 ～ 13:00	市民社会フォーラム (Civil Society Forum) ・対話イベントの開催	Colloquy Hall, (Aula der Wissenschaften)
6/19 (日)	終 日	市民社会フォーラム (Civil Society Forum)	(Aula der Wissenschaften)
6/20 (月)	終 日	核兵器の非人道性に関する国際会議	The Austria Center Vienna
6/21 (火)	終 日	核兵器禁止条約第1回締約国会議 ・会場でのバナー展示 (～6/23)	
6/22 (水)	終 日	核兵器禁止条約第1回締約国会議	
6/23 (木)	終 日	核兵器禁止条約第1回締約国会議 現地発	

<参考>核兵器禁止条約第1回締約国会議

核兵器禁止条約は、核兵器の非人道性に関する議論を主導してきたメキシコ、オーストリアといった国や市民社会の取組を踏まえ、国連の下での2回の交渉会議を経て、2017年7月7日に賛成多数で採択された、核兵器廃絶を目的とした国際条約である。同条約は2021年1月に発効し、今月21日から3日間、オーストリアの首都ウィーンで初めての締約国会議が開催される。また、締約国会議開催に併せて、18日、19日には、ICAN等が主催する市民社会フォーラムが、20日にはオーストリア政府が主催する核兵器の非人道性に関する国際会議が開催される。